



百十四銀行、観音寺信用金庫、株式会社バイウィル カーボンニュートラル実現に向けた連携協定締結について

百十四銀行（頭取 森 匡史）、観音寺信用金庫（理事長 小林 浩二）、株式会社バイウィル（代表取締役社長 下村 雄一郎）は、地域における脱炭素化の加速を目的として連携協定を締結しましたのでお知らせします。

本協定に基づき、3者でJ-クレジット制度[※]におけるプログラム型プロジェクトを立ち上げ、同プロジェクトへの会員募集を担うことで、地域における広範なJ-クレジット創出支援体制を構築してまいります。

なお、金融機関が連携して同一のJ-クレジット・プログラム型プロジェクトを立上げ、運営する事例は香川県内で初となる試みです。

当行は、「気候変動等、環境課題への取組み」を重要な経営課題の一つと位置付けており、今後も地域社会の持続的な発展に積極的に取り組んでまいります。

※J-クレジットとは、省エネ設備の導入や再生エネルギーの活用等、事業者による脱炭素活動により得られたCO₂等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。発行されたクレジットは他の企業等に売却することができ、購入者はカーボン・オフセットなどに活用することができる。



（写真左から）百十四銀行 取締役常務執行役員 菅 弘、観音寺信用金庫 常務理事 岡部 典明氏、
バイウィル 代表取締役社長 下村 雄一郎氏

締結日 : 2025 年 9 月 4 日 (木)

締結場所 : 百十四銀行本店ビル

協定内容 : 地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与することを目的とし以下の事項について協力します。

(1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供

(2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出

(3) その他、本協定の目的に資すると当事者が認める事項

今後の展開 : 地域のカーボンニュートラル実現に向けて、3 者は J-クレジットの創出に向けた太陽光設備の導入によるプログラム型プロジェクト「オリーブ・ゼロカーボンプロジェクト」を協働で立ち上げます。

プログラム型とは、複数の小規模な温室効果ガス削減・吸収活動を束ねて一つの案件として申請できる仕組みで、単独では創出が難しい事業者や家庭でも参加が可能です。

今後、プロジェクトに参加する事業者などによって削減される温室効果ガスを束ねて J-クレジット化し、流通によって得た収益を地域へ還元することで、地域内での経済循環の実現とカーボンニュートラルを促進させます。



【株式会社バイウィル 概要】

- 代表者 : 代表取締役社長 下村 雄一郎
- 所在地 : 東京都中央区日本橋 2-3-21 群馬ビル 6 階
- 事業内容 : 環境価値創出支援事業 (クレジット創出)
環境価値売買事業 (クレジット調達・仲介)
脱炭素コンサルティング事業
ブランドコンサルティング事業
- 公式 HP : <https://www.bywill.co.jp/>

以上